

ラーゲン再生を促進することや紫外線による皮膚の老化を阻止することが明らかになっており、美容食品での利用が始まっている。

### 核酸

ここ数年、水溶性を含めたスクレオプロテインが市場を牽引してきたが、一昨年あたりから水溶性DNAの供給が本格化するなど市場が活発化している。原料流通量としてはスクレオプロテイン、DNA、RNAの合計で約80トンと推測される。スクレオプロテインが伸長してきた背景には、DNAのみならずプロタミン、アルギニンなどが含まれ相乗効果が見込めることが大きい。また“体感”を得られるとの声も多い。さらに水溶性原料の登場で用途拡大が加速しており、ドリンクをはじめ一般食品から化粧品まで用途の幅が広がっている。製品は無店舗での流通が多いが、中高年の女性層を中心に圧倒的な支持を受け根強いファンを獲得しており、アンチエイジング・美容素材として定着している。

エル・エスコローションでは、サケの白子を主原料とする各種核酸原料および付加価値を高めたOEM製品を供給している。06年も2ヶヶ伸長で推移するなどここ数年好調が続いている。原料のラインアップは「スクレオプロテイン」、「DNA・Na」、「RNA」など。「スクレオプロテイン」が供給量の多くを占めるが、これを

酵素処理した水溶性核酸「スクレゲン」が飲料分野で好調だという。同社ではオリジナル素材の「ヒアロコラーゲン」や「ミネラリースト」のほか、CoQ10などの組み合わせで、アンチエイジングを切り口とした原料・OEM供給の提案を積極的に進めている。

ニチ口ではサケ白子由来の「DNA」、「水溶性DNA」、「スクレオプロテイン」を取り扱う。現在ヒト試験を進めており、エビデンスで技術的なサポートにも力を入れる。美容訴求の商品に使われることが多くコラーゲンとの組み合わせ製品が多数上市されている。自社製品としての展開も検討中。

### キトサン

キトサン市場は十数年前の免疫賦活とその後のダイエットブームを駆け抜けたが、現在はそれも落ち着き、市場は原料ベースで150トン、末端で約200億円の横ばい安定で推移している。ピークからみると市場での動きは鈍いが、健康食品の定番製品として、各社がキトサン製品をラインアップしており、昨年も青汁にキトサンを加えた商品など2品がトクホとして許可されるなど根強い人気はある。

日本化薬フードテクノは、キチン・キトサンを利用した特定保健用食品の開発をいち早く行い、現在はトクホ取得サポートを通じて原料供給を行っており、ここ数年好調な動き。同社原料はベニズワイガニから精製し

たもので、打錠特性に優れ97%キトサン錠剤ができる。医薬品の工場であった岩鼻工場で製造しており、品質管理体制もユーザーから高い評価を得ている。

甲陽ケミカルはキトサンの原料からOEM供給まで幅広く対応する。一般食品から健康食品用まで各種グレードのキトサンを取り揃える。

ヤエガキ酸酵技研では、カニ殻由来キトサンとそのオリゴ糖に加え、イカ由来キトサンを販売する。イカキトサンは、イカの軟骨より脱アセチル化して得られるもので、カニ殻よりマイルドな条件で良質のキトサンが得られる。資源的には限られたものだが、差別化商品で利用されている。

### キノコ素材

一昨年、昨年と続いたアガリクス問題が影響し、キノコ市場は大打撃を受けた。昨年は総じて市場は前年の3~4割となっているとみられる。ただし根強いファン層が存在することも確かで、今年に入り徐々に需要が回復しているとの声も聞こえるようになってきた。

アガリクスについては、早期の信頼回復を目的に業界有志が集まり昨年9月、「アガリクス・プラゼイ協議会」が発足。さらに、これまでの諸活動を一層強化・充実化するためにNPO法人として新たなスタートを切ることになり、2月13日に設立総会が開催された。今後NPO法人の立ち上げ

とともにネットワークの早期構築を目指し、まずはメールマガジンや小冊子の発行を通じてアガリクスの安全性や有用性、最新の研究成果などに関する情報を積極的に発信していくとしている。

メシマコプはアガリクスに次ぐ機能性キノコとして市場を形成していたが、アガリクス問題が大きく影響し需要が落ち込んだ。ピーク時は小売ベースで100億円を超える市場を形成していたが、現在は50億円前後とみられる。昨年後半あたりから緩やかにあるが回復の兆しが見られているという声が多く、根強いファン層がいることをうかがわせる。もとも韓国では医療機関でがん治療に幅広く使用されている実績のある素材で、わが国においても代替医療素材として評価を獲得してきた。早期の市場回復、信頼回復のためにも、各種安全性試験や有用性試験に関する規格基準の制定および業界の意識・姿勢の統一化が求められている。

メシマコプ市場をリードするエル・エスコローションは、韓国新薬が

製造するメシマコプ菌糸体(PL2・5)株の熱水抽出エキス製品「メシマビュー」の原料供給およびオリジナリティの高いOEM製品の開発を手掛けている。同社は1998年に「メシマビュー」の販売を開始し、国内外の豊富な研究データや韓国における医薬品としての実績を背景に、代替医療機関を中心に販売実績を重ねている。

笠田化学工業では、菌糸体培養メシマコプの製造・販売を行っている。リピーターの動きが堅調であり、エビデンスを紹介しながら安心して使える免疫系素材としてアピールしている。

霊芝は血行を改善、血管を強くするなどの機能があるとされ、中国では古来より不老長寿薬として重宝されてきた。チハヤでは、自然体をはじめケザミ、原末、エキスなど、様々な形状の霊芝・鹿角霊芝製品を供給している。昨年末から有機JAS認証を取得した各種霊芝(霊芝、赤霊芝、黒霊芝)の原料供給を開始しているが、乾燥原体だけでなくケザミや粉末、エキスなどの加工品についても認証を取得していることから、トレー

サビリティが確立された安心で安全な原料として提案している。

霊芝総合研究所では、国産100%の霊芝製品を取り扱っている。現在の宣伝講習販売だけでなくリーズナブルな価格でドラッグストア系にも展開し、市場拡大を目指す。併せて原料販売にも対応していく。

### 共役リノール酸(CLA)

プロスタグランジンE2産生抑制作用、糖原病改善作用、抗動脈硬化作用、抗酸化作用といった生理活性を有する共役リノール酸(CLA)。CLAの需要が旺盛な欧米では脂肪分解促進や体脂肪燃焼促進作用に着目し、スポーツニュートリションや肥満解消用途などでサプリメントを中心に利用され、欧州ではヨーグルトや牛乳、オレンジジュースなど飲料に配合されるなど様々な食品での利用が進んでいる。世界のCLAの需要量は拡大基調で推移し、原料ベースで推定1,000トンの市場を形成している。日本においては推定40~50トンと横ばい傾向が続いているが、ここ1年で日本人

## サプリメントとガムの融合を可能にする オールインガム



このマークはオールインガム製法により生まれた商品につけられる共通ロゴマークです。あなたの噛む健康習慣を応援します。



サプリメントと同レベルの機能性訴求を可能にした新世代ガム

- 噛んで摂取する水の要らないサプリメント
- 熱に弱い素材を配合できます
- 水分活性に対して安定性の低い素材を配合できます
- 粉末状のガムに混合・打錠するだけで機能性素材の溶出率が高い傾向にあります。
- パラエティに富んだユニークな形状に加工できます



オールインガム日本総代理店  
住商フーズ株式会社 住友商事グループ  
〒105-0012 東京都港区芝大門1丁目1番30号 芝NBFタワー3階  
TEL:03-5405-8011 FAX:03-5405-7082 http://www.scfoods.co.jp/

オールインガムを基材として貴社のアイデアを活かした“噛むサプリメント”をオーダーメイドで製造・販売いたします。

### 「オールインガム」を使った製品が続々

住商フーズとカネボウフーズが2005年より提案しているスベイン・カフォサガム製粉末状ガム基材「オールインガム」の販売が軌道に乗ってきた。2月に大手健康通販からサプリメントガムが発売されたほか、4月には森永製菓からオーラルケアをコンセプトにした製品2品が発売されるなど、新製品が続々と登場している。

「オールインガム」は新開発のガムベースと甘味料を特殊な工程で粉砕・混合した粉体のガム基材。加工工程において成分配合から打錠成型まで一貫して常温加

工可能な最大の特長で、熱や水分活性の影響を受けやすい乳酸菌や酵素など機能性素材を容易に配合できる。また打錠成型機で成型するためバラエティに富んだ形状に仕上げることができるほか、噛んだ時の有効成分の溶出率が高い傾向にあることなども特長だ。

同社は発売以来「ガムとしての品質」にこだわり、カネボウフーズが長年培ってきたガム研究を駆使してテクスチャーや風味の改良に努めてきた。この1年で飛躍的に品質を向上させたことが功績し、大手メーカーが採用に踏み切ったとみられ

る。カネボウフーズは住商フーズが開拓した顧客の商品コンセプトに従ってOEM生産を行うとともに、自社ブランドの商品の開発・生産も手掛けている。すでに昨年9月に発売した乳酸菌ガム「絆患習慣」(30g、オープン価格)が、全国のドラッグストアで定番商品として導入されている。

同社は商品コンセプトに従って各種機能性素材の調達から商品化までをサポートする体制を構築しているが、今後素材メーカーとの協力体制をより一層強化し、「付加価値の高い次世代型機能性ガムの市場創出を目指す」としている。